

2022年9月28日 第432号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

安倍元首相の「国葬」強行に抗議！ 国会正門前に1万5000人 憲法・民主主義破壊許さない！ 安倍・岸田政治を終わりにさせよう！

安倍元首相「国葬」反対！9・27国会正門前大行動が9月27日に行われ、1万5000人が参加しました。主催は安倍元首相の『国葬』に反対する実行委員会、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の呼びかけです。社民党の福島瑞穂参議院議員、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、日本共産党の志位和夫衆議院議員、れいわ新選組の榑渕万里衆議院議員があいさつ。沖縄の風のメッセージ紹介されました、



憲法9条壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが主催者あいさつ。「安倍政権の8年8カ月は憲法を破壊し、民主主義を傷つけた。自民党と統一協会の癒着のキーマンは安倍元首相だ。悪政を美化することを許してはいけない。今日を安倍・岸田政治の終わりの始まりにしよう。まともな政治、民主主義を取り戻そう」と呼びかけました。

市民からの訴えで前法政大学総長の田中優子さんは、「民主主義は不断の努力をする必要がある。国葬を強行することは、国会軽視、民主主義破壊だ。国葬を認め、不断の努力を怠ってしまうことはファシズムへの道につながる」と指摘しました。

劇作家の坂手洋二さんは、「国葬は総理大臣がやると言えばできるのか」と国葬反対を表明するとともに、「防衛費2倍化にみんな怒らなければならない。これを阻止するには選挙で勝つしかない」と強調しました。

高千穂大学の五野井郁夫教授は、「国葬は法的根拠もなく、議会制民主主義を無視している。今日のこの状況は可視化された民意だ。全国各地でも宣伝や集会が行われている。安倍元首相には負の業績しかない。私たちは8年8カ月の在任中に平和憲法を守り抜くことができた。これからも民主主義、非暴力、平和主義を貫いて声をあげていこう」と呼びかけました。

憲法共同センター(全日本民医連事務局次長)の木下興さんが行動提起を行いました。

9月26日、内閣府に国葬の中止を求める署名を提出しましたが、追加分として3795人分を郵送しました。